

ホンヤク出版社のソリューション

英訳する日本語原稿は 何に気をつけて書く？



「伝える」をデザインする

 株式会社 **ホンヤク出版社**

英訳する日本語原稿は何に気をつけて書く？

海外向けの文書を作る必要に迫られた場合、まず日本語で原稿を書いてそれを翻訳されると思います。どのみち翻訳してしまうのだから、日本語は意味が通じれば大丈夫だろう、そう思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。ところが日本語の書き方によっては誤訳を誘発し、英語から多言語化した場合に、後工程でのやり直しによるムダの発生など、思わぬ事態を招く、といった危険性もあります。そのようなことにならないためには何に気をつけて原稿を書けばいいのでしょうか。

課題

弊社のあるお客様が海外に提出する書類を作成することになりました。提出する英語の文書の原稿となる日本語を書くに当たり、何に気をつけて書くべきか教えてほしい、というご依頼がありました。

解決策

弊社は一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会（TC協会）に所属しております。

TC協会は取扱説明書などの文書の品質向上によって、仕事や生活の質を高めることができる社会の実現を目指す団体です。この団体が発行している『日本語スタイルガイド（第3版）』には、今回の課題に対する有益な情報がまとめられています。この情報を中心にお伝えするのがよいと考え、お客様に説明を行いました。下記はその一例です。

（『日本語スタイルガイド（第3版）』より要約）

一般的に、日本語は文中に含まれる情報量が少なく、欧米系の言語は情報量が多いと言われています。例えば日本語には単数／複数表現や名詞の性別がありません。

この違いは、英語から日本語に翻訳するときと日本語から英語に翻訳するとき、翻訳の難易度や品質の差異が生じる原因となります。英語版を作成する場合は、英語に翻訳するために不可欠な情報を日本語に追加することが重要です。

日本語	英語
	Do/Does
	You/I/you guys/we/they/he/she/it
オレンジが好きですか？ →like orange?	Like
	an/my/your/his/her/this/that/the/their/these/those
	orange/oranges?

まとめ

海外向けの文書を作る際には、原稿である日本語の書き方に注意する必要があります。

一例として「言語による情報量の違い」があり、母国語で原稿を書いている時にはなかなか認識しにくいことです。しかしその配慮をしておかないと意図する内容に翻訳されず、トラブルを招く危険性もあります。

弊社ではこのようなアドバイスを行うこともできますし、お客様が書かれた原稿をリライトすることもできます。海外向けの文書作成をお考えの方はぜひ一度ご相談ください。

(2019年7月1日)

ホニヤク出版社のソリューション一覧

- Web を簡単に多言語化する方法
- Word だって自動組版できるんです
- 改訂履歴の見られる電子マニュアルはいかがですか？
- Illustrator 多言語版の時短テクニック
- 動かない AI を生み出さないため、不揃いなデータをデータ整形（データクレンジング）で統一しませんか？
- 翻訳前に「改行」や「空白」などの制御文字を事前に取り除く方法とは？
- 用語集を自動作成！同時に表記揺れも検出！
- 翻訳資産管理
- マニュアル診断から、その先へ
- 英訳する日本語原稿は何に気をつけて書く？
- 翻訳費用削減事例
- Microsoft Access を使ったデータ管理

上記に類似したお悩みごとはございませんか？

弊社がお力になれるかもしれません。

各種ソリューションは弊社の Web サイトからご覧いただけます。

是非ご確認くださいませ！

QR コード読み取りまたは
「ホニヤク出版社」で検索



ページ上方のメニューから
「ソリューション」にアクセス

「ソリューション」ページ URL : <https://www.honyaku-shuppan-sha.co.jp/solution.html>

お問い合わせ

03-3355-4411 (9:00~17:30)

Web サイトからもお問い合わせいただけます。

トップページの「お問い合わせ」ボタンからフォームに入力してご送信ください。

商標/コピーライト

Microsoft Word、Excel、PowerPoint は米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

Adobe、Adobe FrameMaker、Adobe InDesign、Adobe Acrobat、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

Trados は SDL TRADOS 社の登録商標です。

XDocForm は株式会社ホニヤク出版社の登録商標です。

その他、本書に表示・記載されている各社の会社名・サービス名・製品名等の商標は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

表紙写真提供：Benjamin Child (<https://unsplash.com/@bchild311>)